

平成17年度 事業報告書
(平成18年度事業計画書)

第3回定時総会

平成18年6月21日

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会

ご挨拶

平素は、当協議会に格別のご支援、ご高配を賜り誠に厚く御礼申し上げます。

当協議会では、平成17年度においては、年度事業計画に沿って、特定非営利活動に係る三つの事業を中心に事業を推進実行して参りました。

まず、eヘルス倫理コードによるサイトの審査認定事業では、医療系Webサイトの自主基準であるeヘルス倫理コードに基づくトラストマーク付与の審査認定を、新規に8件行いました。また、eヘルス倫理コードの普及を目的としたeヘルス倫理コードマネージャー&アドバイザー講習会事業では、年間4回の講習会を開催、eヘルス倫理コードマネージャー9名、同アドバイザー8名の資格認定を行いました。

そして、研究会(フォーラム)開催事業では、JIMA会員及び一般の人を対象とした「インターネット医療フォーラム2005」を都内で開催、患者・市民、企業、医療関係者のそれぞれの立場から、インターネットを積極的に活用した情報発信やサービスの事例を発表いただき、活発なディスカッションを行うことができました。

現在、インターネットの普及は目覚ましく、新たな利用技術が次々と開発されています。なかでも、ブログやSNS(ソーシャルネットワークサービス)といった新たなツールの登場で、個人からの情報発信も容易になり、コミュニケーションの多様化が進んでいます。それにつれて、発信する情報やメッセージの影響も無視できなくなってきました。

こうした中で、インターネット等の情報通信技術をうまく使いこなしていくためにも今まで以上の知恵と工夫が強く求められてきているわけですが、JIMAでは、18年度においては、昨今の技術・社会環境の変化を踏まえ、インターネットを利用した情報サービスの提供利用のあり方について議論を深め、自主的基準であるeヘルス倫理コードの見直し・改訂に向けた作業も行なって参りたいと存じています。医療分野におけるITの問題に前向きに取り組んで参りました当協議会としては、現在生まれつつある新たな問題にしっかり向き合いながら、さらなる成果を達成し、NPOとしての存在意義をいっそう高めて参りたいと願っております。

会員各位、並びに関係者の皆様におかれましては、何卒ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月21日

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会
理事長 辰巳治之

平成17年度事業報告

(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)

1. 事業成果

平成17年度は、前年度同様、信頼性のあるWebサイトの運用基準を示すeヘルス倫理コードの運用・普及をめざし、医療機関や企業のサイト管理者を対象に、eヘルス倫理マネージャー及び同アドバイザーの資格認定のための講習会を開催するとともに、本倫理コード基準によるサイトの審査認定及びトラストマーク付与事業を継続的に行った。また、12月には、会員及び一般の人も参加対象としたインターネット医療フォーラムを開催した。

2. 主な事業の詳細

1) eヘルス倫理コードによるサイトの審査認定事業

医療系Webサイトの自主基準であるeヘルス倫理コードに基づくトラストマーク付与の審査申請を11件受付した。うち、5サイトを新規に、また3サイトを更新で審査認定し、マーク付与を行った。(3件は受審中。)

2) eヘルス倫理コードマネージャー&アドバイザー講習会

組織・機関の中にあつて、eヘルス倫理コードを理解し運用を行うeヘルス倫理コードマネージャーと、外部にあつて専門的立場からアドバイスを行う同アドバイザーを育成する講習会を開催した。4回の開催で、マネージャーを9名、アドバイザー8名を資格認定した。

3) 研究会(フォーラム)の開催

JIMA会員及び一般の人を対象とした研究会(インターネット医療フォーラム2005)を、平成17年12月14日に、東京・品川において開催した。辰巳理事長の基調講演ほか5題の一般口演の後、参加者をまじえたパネルディスカッションを行った。

4) その他、本協議会の事業目的に定める事項の推進実行

本法人の趣旨・活動状況に関し、関係各方面への広報に努めるとともに、他の関連団体や組織との交流、情報交換を積極的に行った。

17年度 事業報告書

平成17年 4月 1日から 平成18年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 日本インターネット医療協議会

1 事業の成果

本年度は、前年度同様、信頼性のあるWebサイトの運用基準を示すeヘルス倫理コードの運用・普及をめざし、医療機関や企業のサイト管理者を対象に、eヘルス倫理マネージャー及び同アドバイザーの資格認定のための講習会を開催するとともに、本倫理コード基準によるサイトの審査認定及びトラストマーク付与事業を継続的に行った。また、12月には、会員及び一般の人も参加対象としたインターネット医療フォーラムを開催した。

2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
サイト認定事業(マーク付与)	サイトの審査認定及びトラストマークの付与	通年	インターネットにより特に限定なし	10名	医療機関、企業、団体等 8組織	131
eヘルス倫理コード講習会事業	eヘルス倫理コードマネージャー及びアドバイザー資格認定のための講習会開催	5月、9月 12月、3月	東京	3名	医療機関、企業、団体等 17名	266
研究会事業	医療分野でのIT利用に関する研究会(フォーラム)の開催	12月14日	東京	10名	医療関係者、企業、市民等 50名	43

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)

17 年度会計 収支計算書

平成17年 4月 1日から 平成18年 3月 31日まで

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会

科 目	金 額 (単位:円)		
収入の部			
1 会費・入会金収入	28,000	469,000	
入会金収入	441,000		
会費収入			
2 事業収入		1,307,000	
マーク事業収入	460,000		
倫理コード講習会事業収入	820,000		
研究会事業収入	27,000		
3 その他収入		442,641	
利息収入	1		
事務受付等	442,640		
当期収入合計(A)		2,218,641	
収 入 合 計(A)			2,218,641
支出の部			
1 事業費		440,796	
(1) マーク事業費	131,250		
(2) 倫理コード講習会事業費	266,119		
(3) 研究会事業費	43,427		
2 管理費		1,849,278	
会議費	72,280		
事務用品費	97,715		
通信費	181,962		
旅費交通費	131,960		
消耗品費	6,402		
発送費	700		
コンピュータ関連費	274,352		
新聞図書費	0		
印刷コピー費	46,476		
家賃	420,000		
事務受付費	540,000		
水道光熱費	24,712		
雑費	52,719		
3 予備費		0	
予備費	0	0	
当期支出合計(B)			2,290,074
当期収支差額(A) - (B)			-71,433
前期繰越収支差額(C)			142,388
次期繰越収支差額(A) - (B) + (C)			70,955

17 年度会計 貸借対照表

平成 18年 3月 31日作成

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会

科 目	金 額 (単位 : 円)		
資産の部			
1 流動資産			
現金	39,246		
普通預金	31,709		
流 動 資 産 合 計		70,955	
2 固定資産	0		
固 定 資 産 合 計		0	
3 繰延資産	0		
繰 延 資 産 合 計		0	
資 産 合 計			70,955
負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
流 動 負 債 合 計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固 定 負 債 合 計		0	
負 債 合 計			0
正 味 財 産			70,955

平成17年度会計決算報告

(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)

監事 大山 博司 殿

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会の平成17年度
会計決算を別紙のとおり報告いたします。

平成18年 6月 13日

理事長 辰巳 治之 印

平成17年度監査結果報告

(自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)

理事長 辰巳 治之 殿

理事長から提出された平成17年度会計決算報告を監査した結果、
内容は正確適正であることを認めます。

平成 年 月 日

監事 大山 博司 印

会員動向報告

(平成18年6月12日現在)

1. 現在会員数

内訳	正会員	76名
	<u>賛助会員</u>	<u>6社</u>
合計		82名(社)

2年以上の会費未納者は除外。

2. 平成17年4月以降、平成18年6月12日現在までの 新規入会数

入会数 15名(社)

内訳	正会員	15名
	賛助会員	0社

平成 18 年度事業計画書

(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人
日本インターネット医療協議会

1 事業実施の方針

平成 18 年度も、JIMA の e ヘルス倫理コードに基づくサイトの審査認定及びトラストマーク付与事業を行う。さらに、同 e ヘルス倫理コードの普及と確実な運用を行うため、医療機関や企業のサイト管理者を対象とした e ヘルス倫理マネージャー及び同アドバイザーの資格認定事業を継続して行う。また、会員及び一般の人を参加対象としたフォーラムを開催する。なお、本年度は、インターネット医療の環境の変化を踏まえ、e ヘルス倫理コードの見直し改訂に向けた作業を行う。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業を以下に掲げる。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
サイト認定事業	サイトの審査認定及びトラストマークの付与	通年	インターネットにより場所の限定なし	10 名	医療機関、企業等新規 6 機関(社)	150
e ヘルス倫理コード講習会事業	e ヘルス倫理コードマネージャー及び同アドバイザー資格認定のための講習会開催	年 5 回	主に東京	3 名	医療機関、企業、団体等 20 名(社)	300
研究会事業	医療分野での IT 利用に関する研究会(フォーラム)の開催	12 月頃	東京	10 名	医療関係者、企業、市民等 50 名	70

平成 18 年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日

(単位：円)

科目	金額		
収入の部			
1 会費・入金収入			
入金収入	170,000		
会費収入	600,000	770,000	
2 事業収入			
サイト認定事業収入	420,000		
講習会事業収入	800,000		
研究会事業収入	50,000	1,270,000	
3 その他収入	0	0	
当期収入合計		2,040,000	
前期繰越収支差額		70,955	
収入合計			2,110,955
支出の部			
1 事業費			
サイト認定事業費	150,000		
講習会事業費	300,000		
研究会事業費	50,000	500,000	
2 管理費			
会議費	50,000		
事務用品費	50,000		
通信費	120,000		
旅費交通費	120,000		
消耗品費	20,000		
荷造運賃費	5,000		
コンピュータ関連費	100,000		
新聞図書費	10,000		
印刷コピー費	70,000		
事務所賃借費	360,000		
事務受付費	600,000		
水道光熱費	0		
雑費	50,000	1,555,000	
3 予備費			
予備費		20,000	
当期支出合計			2,075,000
当期収支差額			35,955
次期繰越収支差額			35,955

平成18年度～19年度役員名簿

(自平成18年4月1日 至平成20年3月31日)

(敬称略、アイウエオ順)

理事長	辰巳治之	札幌医科大学教授
副理事長	花井荘太郎	国立循環器病センター運営局調査課
副理事長	水島 洋	国立がんセンター研究所がん診療支援情報研究室室長
理 事	伊藤雅彦	国際医療福祉大学臨床医学センター助教授
〃	小内 亨	おない内科クリニック副院長
〃	上出良一	東京慈恵会医科大学皮膚科学講座教授
〃	亀田俊忠	亀田総合病院理事長
〃	西藤成雄	医療法人西藤こどもクリニック院長
〃	中山健夫	京都大学大学院医学研究科教授
〃	畑 直成	畑内科クリニック院長
〃	藤谷護人	エルティ総合法律事務所(東京弁護士会)
〃	松岡萬里野	日本消費者協会参与
〃	三谷博明	日本インターネット医療協議会事務局長
〃	山中 昇	和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科教授
監 事	大山博司	両国東口クリニック副院長

(注)前期理事の河北博文氏(河北総合病院理事長)は退任願いを受理。